

# 「統計データ分析コンペティション」受賞者及び受賞論文

## ～ 高校生の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
<p><b>【総務大臣賞】</b></p> <p>竹内遥・江本もえ・木下舞・永井あゆる (お茶の水女子大学附属高等学校)</p>	<p>ワンオペ育児から見る離婚</p> <p>離婚の要因を探るため、様々な仮説の下、総人口の影響を除いた偏相関係数を用いた相関分析を行った。その結果、離婚要因の一つが、家庭内で女性のみが家事や子育てを行うワンオペ育児にあることを導いた。その上で、ワンオペ育児を防ぐために、男性の育休取得数を増やすことなどを提案している。</p>
<p><b>【優秀賞】</b></p> <p>渡邊璃里香・吉田美咲 (愛媛県立松山南高等学校)</p>	<p>南海トラフ地震に備えて ～指定避難所に3人に1人が避難できず、災害時の医療体制は本当に十分か？～</p> <p>南海トラフ地震に備えるために、通学している高校から半径3km以内のエリアについて、GISを用い地図上に指定避難所や診療所をプロットすることにより、避難所の分布に空白地帯があり診療所に偏りがあることを指摘した。さらに、幼稚園等の新たな避難所、災害時の医療体制の充実などを提案している。</p>
<p><b>【統計数理賞】</b></p> <p>猪狩信人 (福島工業高等専門学校)</p>	<p>過疎地域の現状分析と発展に重要な視点</p> <p>過疎地域の発展に重要な視点を探るため、市区町村を過疎地域とそれ以外に分類し、SSDSEから人口、教育、産業などのデータについて、分布の比較や相関分析を行った。その結果、一次産業の活性化が過疎地域の発展につながることを指摘するとともに、行政機関が資金援助を行うことの必要性を述べている。</p>
<p><b>【統計活用奨励賞】</b></p> <p>大段利々子 (広島大学附属高等学校)</p>	<p>日本で暮らす外国人の動向から見た多民族化</p> <p>多民族化が人口問題解決の鍵になるという仮説の下、SSDSEから人口、地方経済関連データを抽出して相関分析を行った。その結果、外国人比率の高い地域が都市部と地場産業を有する地方とに二極化していることなどを示し、新たな産業の展開が外国人の増加、地方創生につながる可能性を指摘している。</p>

# 「統計データ分析コンペティション」受賞者及び受賞論文

## ～ 大学生・一般の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル及び概要)
<p>【総務大臣賞】</p> <p>張瀚天・白鳥友風 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)</p>	<p>地方創生目標指標に関する変化要因ネットワークの推定とそれに基づく地域間連携策の提案</p> <p>地方創生の設定目標について、目標指標に影響を与える変数の相互関係を明らかにするため、共分散行列を用いて要因ネットワーク図を作成し、lasso法による分析を行った。その結果、地域の稼ぐ力が地方創生に重要であることを指摘するとともに、地理的な制約にとられない地域間連携を提案している。</p>
<p>【優秀賞】</p> <p>竹内太郎 (大阪大学医学部)</p>	<p>我が国における人口増減の決定要因</p> <p>都道府県の人口増減について決定要因を探るため、教育、健康・医療分野の指標を説明変数として回帰分析を行った。その結果、高等学校卒業者の進学率、一般診療所数、医師数の増加などが人口増加に影響しているとの結果を得ており、人口減少を克服するための政策立案の基礎資料として提案している。</p>
<p>【統計数理賞】</p> <p>松本洋輔 (一橋大学経済学部)</p>	<p>マルチレベル分析を用いた市町村大学等進学率の決定要因分析</p> <p>大学等進学率の地域格差の要因を探るため、都道府県レベルと市区町村レベルの複数の説明変数を同時に扱うマルチレベル分析を行った。結果として、都道府県レベルでは東京または京都までの距離と大学収容率、市区町村レベルでは課税対象所得、知識集約型産業従事者率等が、大学等進学率に影響していると指摘している。</p>
<p>【統計活用奨励賞】</p> <p>村松波・熊野翔・川田瑛貴 (武蔵野大学工学部)</p>	<p>市区町村別でみる合計特殊出生率推移の特徴分析</p> <p>少子化問題の特徴を明らかにするため、子ども女性比を用いて市区町村別に合計特殊出生率(TFR)の推定を行い、2015年までの増減について検証を行った。結果として、東京都区部では港区等の増分が大きいこと、TFRの増分は納税者一人あたり所得の増分との相関が高いことを指摘している。</p>

# 「統計データ分析コンペティション」受賞者及び受賞論文

## 【特別賞】

### ～ 高校生の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル)
池田雅子 (岡山県立岡山操山高等学校)	旅館及びホテルにおける日本人・外国人宿泊客の都道府県別増減から考える旅館の復活 —岡山県湯原温泉の視点からインバウンド需要を旅館に取り込む方策—
宇川昇吾・宮本紫苑・山地悠介 (香川県立観音寺第一高等学校)	香川県の交通事故発生の要因を交通違反件数を基に分析する

### ～ 大学生・一般の部 ～

受賞者	受賞論文(タイトル)
眞田英毅 (東北大学大学院文学研究科) 三浦萌実 (株式会社社会情報サービス)	潜在患者数に対する医師偏在の可視化
西尾春香 (関西学院大学経済学部)	外国人人口と市区町村の特性との関係性
原康熙・福田和生・柳田はづき (早稲田大学政治経済学部、商学部、社会科学部)	「広域連携の政策検証」 —空間計量経済学的手法による実証分析—
平原幸輝 (早稲田大学大学院人間科学研究科)	地方創生実現のロジック —地域経済活性化のメカニズムを解明する—